

事項	交信攪乱剤オリフルア・トートリルア・ピーチフルア剤「コンフューザーR」利用によるりんご害虫の防除と殺虫剤使用の削減														
ねらい	りんご用複合交信攪乱剤として「コンフューザーA」があるが、それからキンモンホソガの成分を除くことで価格を下げ、また使用方法を改善した「コンフューザーR」を利用することによって、園地の状況等に応じた使用及び殺虫剤の使用量を削減することが可能となるので参考に供する。														
指導 参考 内容	<p>1 コンフューザーRの使用方法</p> <p>(1) コンフューザーRの基本的な使用方法及び利用条件はコンフューザーAと同一である(平成10年度指導参考資料「りんご害虫防除のための交信攪乱剤「コンフューザーA」参照)。</p> <p>(2) コンフューザーAとは樹への取付け方が異なる。</p> <p>(3) 取付け方は、新しょう・果そうなどの細い枝では輪にして輪の中に枝を通し、太い枝では2本のまま巻いてから一端を輪の中をくぐらせて引っ張り固定する。</p> <p>2 コンフューザーRの安全使用基準と特性</p> <p>(1) 一般名:オリフルア・トートリルア・ピーチフルア剤</p> <p>(2) 対象害虫:ナシヒメシンクイ、リンゴコカクモンハマキ、モモシンクイガ (ミダレカクモンハマキ、リンゴモンハマキ、アトボシハマキにも有効)</p> <p>(3) 毒性:人畜毒性 普通物、魚毒性 A類相当</p> <p>(4) 使用時期:成虫発生前から終期まで</p> <p>(5) 形状:茶色のポリエチレン製チューブ(長さ20cm、太さ2mm)の中にフェロモンが含まれ、チューブ2本を両端で接合したもの(ツインタイプ)</p> <p>(6) 効果:対象害虫の性フェロモンを園地内に充満させることで成虫の交尾を連続的に阻害し、次世代の発生を抑制する。効果は約3~4か月持続する。</p> <p>3 コンフューザーR利用の有利性</p> <p>(1) コンフューザーRはコンフューザーAに比較し、取付けが簡単で、取付け量も少ないので取付け時間が少ない。</p> <p>(2) コンフューザーRはキンモンホソガの性フェロモンが入っていない分、コンフューザーAよりも価格が安い。</p> <p>(3) 県内ではキンモンホソガの発生が少ない園地が多いので、コンフューザーRを利用することで殺虫剤の削減が可能となる。</p> <p>4 りんご用複合交信攪乱剤の10a当たり取付け量と価格</p> <table border="1" data-bbox="316 1413 1390 1592"> <thead> <tr> <th>フェロモン剤</th> <th>取付け量</th> <th>参考価格(税抜き)</th> <th>対象害虫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンフューザーR</td> <td>100本/10a</td> <td>8,000円</td> <td>ナシヒメシンクイ、ハマキムシ類、モモシンクイガ</td> </tr> <tr> <td>コンフューザーA</td> <td>150本/10a 200本/10a</td> <td>9,315円 12,420円</td> <td>ナシヒメシンクイ、ハマキムシ類、モモシンクイガ、キンモンホソガ</td> </tr> </tbody> </table>			フェロモン剤	取付け量	参考価格(税抜き)	対象害虫	コンフューザーR	100本/10a	8,000円	ナシヒメシンクイ、ハマキムシ類、モモシンクイガ	コンフューザーA	150本/10a 200本/10a	9,315円 12,420円	ナシヒメシンクイ、ハマキムシ類、モモシンクイガ、キンモンホソガ
フェロモン剤	取付け量	参考価格(税抜き)	対象害虫												
コンフューザーR	100本/10a	8,000円	ナシヒメシンクイ、ハマキムシ類、モモシンクイガ												
コンフューザーA	150本/10a 200本/10a	9,315円 12,420円	ナシヒメシンクイ、ハマキムシ類、モモシンクイガ、キンモンホソガ												
期待される効果	1回の取付けで主要害虫の発生密度を抑制し、殺虫剤の使用削減が期待できる。通常の農薬とは異なり、対象害虫のみに作用し、人畜、蚕、水生昆虫、天敵などに対する影響や作物残留の心配が全くない。このため、本剤を利用し殺虫剤使用を削減することで、消費者の健康志向・食の安全等に対応することができる。														
利用上の注意事項	<p>1 対象とならない害虫が発生することがあるので、他の種類も含め、害虫の発生状況を積極的に観察する。</p> <p>2 使用に当たっては、事前にJAなどに申し込み、資材を確保する。</p>														
担当	青森県りんご試験場 病虫肥料部	対象地域	県下全域												
発表文献等	平成11~14年度 青森県りんご試験場試験研究成績概要集、東北農業研究 第55号 平成10年度 指導奨励事項・指導参考資料等														

【根拠となった主要な試験結果】

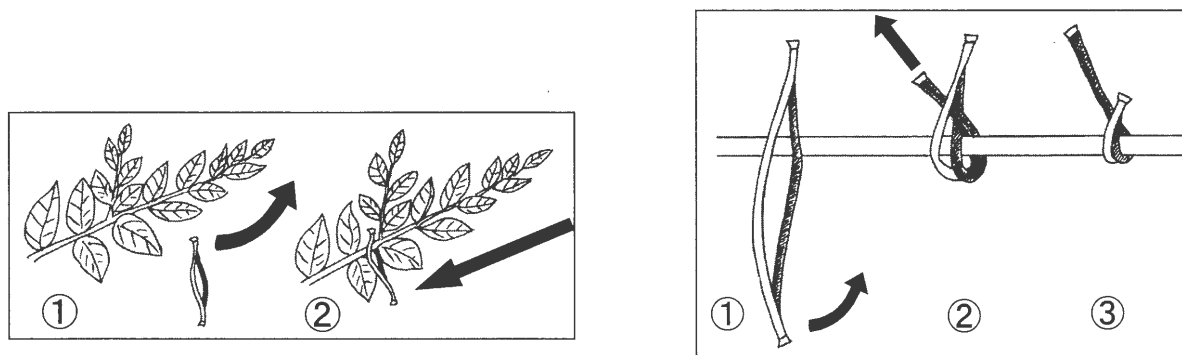


図1 コンフューザーRの取付け方 左：細い枝などの場合、右：太い枝などの場合

表1 コンフューザーRの広域処理による対象害虫のモニタートラップへの誘引数及び密度推移 (平成11～14年 青森りんご試)

対象害虫	コンフューザーR・殺虫剤散布	モニタートラップ誘引数				第一世代幼虫密度			
		平成11	平成12	平成13	平成14	平成11	平成12	平成13	平成14
ナシヒメシンクイ	処理・削減	0	0	0	0	0	0	0	0
	無処理・慣行	9	3	5	7	0	0	0	0
対象害虫	コンフューザーR・殺虫剤散布	モニタートラップ誘引数				第一・二世代幼虫密度			
		平成11	平成12	平成13	平成14	平成11	平成12	平成13	平成14
リンゴコカクモンハマキ	処理・削減	0	0	0	0	0	0	0	0
	無処理・慣行	296	107	1	45	0	0	0	0
対象害虫	コンフューザーR・殺虫剤散布	モニタートラップ誘引数				果実被害数			
		平成11	平成12	平成13	平成14	平成11	平成12	平成13	平成14
モモシンクイガ	処理・削減	0	0	0	0	0	0	0	0
	無処理・慣行	52	64	18	29	0	0	0	0
対象害虫	コンフューザーR・殺虫剤散布	モニタートラップ誘引数				越冬世代幼虫密度			
		平成11	平成12	平成13	平成14	平成11	平成12	平成13	平成14
ミダレカクモンハマキ	処理・削減	0	0	0	0	218	3	31	4
	無処理・慣行	260	167	30	87	260	95	74	20

- (注) 1 第一世代幼虫密度：1000新しょう当たりの心折れ数
 2 第一・二世代幼虫密度：1000新しょう当たりの巻葉数
 3 果実被害数：無袋1000果当たりの被害果数
 4 越冬世代幼虫密度：1000花そう当たりの巻葉数
 5 試験方法：りんご試験場藤崎ほ場（供試品種：ふじ）で実施、平成11年はコンフューザーRを10a当たり100本（265a）、平成12年は同120本（297a）、平成13年は同100本（297a）、平成14年は同100本（281a）を目通り部に取付け

表2 藤崎町におけるコンフューザーR利用による殺虫剤の削減例 (平成12～14年 青森りんご試)

区	年	殺虫剤の使用量		薬剤費（10a当たり、税込み）			
		回数	延べ数	殺虫剤	コンフューザーR	取付け費	合計
コンフューザーR 処理+殺虫剤削減	平成12	8回	8薬剤	15,429円	10,080円/120本	168円	25,677円
	平成13	7回	7薬剤	14,881円	8,400円/100本	168円	23,449円
	平成14	7回	7薬剤	16,028円	8,400本/100本	168円	24,596円
コンフューザーR 無処理+慣行防除	平成12	10回	10薬剤	17,939円	—	—	17,939円
	平成13	10回	10薬剤	19,217円	—	—	19,217円
	平成14	10回	10薬剤	20,453円	—	—	20,453円

- (注) 1 薬剤費には展着剤・燃料費等は含まない
 2 コンフューザーRは8,000円/100本で試算
 3 取付けに要する労働費は臨時雇用標準賃金5,000円/日（8時間）/人で試算